

大規模医療データベースの構築や臨床研究をはじめませんか

若手医師のための データベース研究入門セミナー

臨床研究は、診断や治療の評価、予防医療、医療開発、費用対効果評価のために益々重要な領域となっていますが、臨床能力や医療レベルの高さは、必ずしも臨床研究の遂行能力と比例しません。

このたび、若手医師や医療者を対象として、京都大学臨床研究者養成コース（MCRコース）で特にリアルワールドデータ（RWD）などの各種の大規模データベースを用いた臨床研究を推進している当教室の外部公開セミナーとして、論文の批判的吟味、臨床研究でのデータマネジメント、データベース研究の基盤や手法について、グループワークと講義によるセミナーを開催します。事後には参加者、講師陣、チューターの交流、今後の仲間づくりのための懇親会も企画しています。大規模医療データベースを用いた臨床研究に関心がある、あるいは悩みを持ちつつも実施している多くの医療従事者の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2019年11月9日（土）10時－17時30分

場所

キャンパスプラザ京都 演習室（京都駅徒歩5分）

参加費

3000円（資料代・昼食代込、懇親会費別）

時間

講演、WSタイトル

10:00-10:15	開会のあいさつ、アイスブレイク
10:15-11:00	講義：文献検索・研究デザイン
11:00-12:00	ワークショップ1：データハンズオン ランチョンセミナー
12:00-13:00	臨床研究の潮流：臨床試験からデータベース研究へ
13:15-14:30	ワークショップ2：文献の批判的吟味
14:30-16:00	ワークショップ3：臨床研究計画実習
16:15-17:00	医師によるプログラミングとAI
17:00-17:30	若手医師のデータベース研究事例紹介
18:00-	懇親会（京都駅周辺）

◆ 受講申込み（先着30人）

「お名前・ご所属名・職名」を明記し、メールにてお申込み下さい。

申し込み先：

京都大学大学院医学研究科
薬剤疫学分野

info@pe.sph.med.kyoto-u.ac.jp

ご連絡いただいたあと、参加費振込の案内、地図詳細、事前資料の送付、懇親会参加の照会などをさせていただきます。

臨床研究経験豊富な講師陣と、すこし先輩の臨床研究医たちが参集します

◆ 講師

教員

川上 浩司 教授（臨床疫学）
竹内 正人 准教授（小児科医）
関 知嗣 特定助教（循環器内科医）
徳増 裕宣（倉敷中央病院臨床研究支援センター部長、RWD社取締役、新生児科医）

チューター（教室の大学院生）
木村 丈（RWD社、新生児科医）
新川 神奈（腎臓内科医）
中島 雅之（消化器外科医）
水野 佳世子（耳鼻咽喉科医）
服部 雅優（RWD社、頭頸部外科医）

◆ 主催

京都大学大学院医学研究科
社会健康医学系専攻・薬剤疫学

健康・医療・教育情報評価推進機構
（HCEI）